

# コムテック株式会社



Web 利用時のセキュリティリスクに専用アプライアンスで対処  
手間のかからない運用で、安全なインターネット利用環境を実現



## 導入ソリューション

Cisco IronPort Content Security

## 導入前の課題、検討事案

- ・ Web サイトを介してマルウェア感染することがあり、マルウェアおよび配布サイトに対し強固な対策を行いたかった。
- ・ 情報漏えいを防ぐ観点から、従業員の Web メールや掲示板の私的利用をコントロールしたかった。
- ・ 未知の Web サイトなど新規の問題が発生した時に、自社で対応するのではなく、運用負荷の低い対策を行いたかった。
- ・ 導入が簡単で、運用コストが低いソリューションを導入したかった。

## 導入効果

- ・ 強固なマルウェア対策（2重のアンチマルウェアエンジン、Webレピュテーション）、URLフィルタ、情報漏えい対策、Web利用履歴ログ分析など、求めていたすべての要件を1台のアプライアンスで実現できた。
- ・ Webサイトのカテゴリ、レピュテーションスコアは、シスコからリアルタイムに提供されるため、運用管理もほとんどかからなかった。
- ・ 会社の情報漏えい対策ポリシーに沿った社員向けインターネット利用規定を実現した。

さまざまな業種、業界の業務受託を行っているコムテックは、Webサイトを介したマルウェアの感染防止と、情報漏えいの原因となる社員のWebサービス利用規定を同時に実現するセキュリティ対策を進めたいと考えていた。シスコのCisco IronPort Webセキュリティアプライアンス (WSA) S360を導入し、強固なWebセキュリティ対策とインターネット利用管理を実現した。

### 導入の経緯

## マルウェア感染や情報漏えいを防ぐ対策を効果的に行いたい その要件にかなうものとして Cisco IronPort WSA を選択

医療や金融分野のデータエントリー、コールセンター、ソフトウェア開発などの業務委託で高い評価を得ているコムテックは、顧客への適切なアプローチとサービス提供を図るために、顧客企業や関連業界の情報を常にリサーチしている。社員は、Webサイトやコミュニティサービス、掲示板などさまざまなサービスを活用しているが、意図せずリダイレクトされた先でマルウェアに感染してしまうケースが何度かあったという。また、情報の持ち出しや漏えいを防ぐ観点で、社員のWebメールや掲示板の書き込みなど一部の利用を制限したいと考えていたものの、少ない労力で高い効果を得る方法が見つからず、苦慮していた。

何かよい対策はないかと模索していた折、シスコから「Cisco IronPort WSA」の提案を受けた同社は、実際にデモ機を評価し、導入を決定した。

情報システム室 室長の袋井真音氏は、次のように話す。

「弊社はモバイル端末が多いので、1台1台対策するのが望ましいと思っていましたが、シグネチャのアップデートや管理にもすごく手間がかかり、コストも大きいので、社外のモバイル端末からも社内へVPN接続させてアプライアンスで集中対策する方向で検討しました。

シスコを採用したのは、製品の機能に加え、コスト面でも納得できるものだったからです。」

問題がありそうなWebサイトやサービス、掲示板などの利用を一律にブロックしてしまえば安心という見方もあるが、それが業務に支障をきたすことを最も懸念したと袋井氏は話す。悪意の有無に関わらず、アクセス先でマルウェアに感染してしまうのは日常的に起こり得ることであり、そうしたリスクにどう対処するか検討を重ねたという。

「お客様に関するリサーチは業務上不可欠で、市場や業種によってはコミュニティサービスなども貴重な情報源なんです。それらを見られなくしてしまうのはビジネスとして非常に大きな機会損失を招きます。一方、日々変化しているWebの世界で、問題があるWebサイトやサービスを都度登録していくのは労力がかかりすぎますし、高いお金を払って外部の業者からリストを買っても、それをどう運用するのかという別の課題が生じます。

こうしたことを諸々考慮し、検討を進めていた中で、弊社の要望に近く、また簡便な対応を実現できると提案いただいたのがシスコだったんです。」



コムテック株式会社  
情報システム室  
室長  
袋井 真音 様

## コムテック株式会社



### 本社所在地

東京都港区芝浦 1-2-1 シーパンスN館 10F

### 設立

1976年 11月

### 資本金

7億 6,200万円 (2010年 3月 31日現在)

### 従業員数

正社員 823名、契約社員 /

パートアルバイト 1,081名

(連結、2010年 3月 31日現在)

現在、企業経営におけるコンピュータ資源の活用は不可欠な事象として、各業界に完全に浸透しつつあります。しかし優秀なハードやソフトウェアが多く氾濫する中で、そのテクノロジーを企業戦略として完全に活かす術を、使用する側が掴みきれず、その構築に四苦八苦しているのが現状であり、しかもデジタル環境における技術は日進月歩で、常に最先端のシステムテクノロジーに目を向け活用することはユーザーにとって、かなりの負担を強いることとなります。COMTECはアウトソーシング化による、あらゆるコンピュータシステム運用の負荷を軽減し、個々の業務にあわせた最高・最良のシステム環境を提供。そして即戦力に結び付くシステムの本格稼働を確実に遂行してゆきます。

## 導入プロセス

### アップデートで インターネット利用規定などの機能を強化 必要な機能、設定を網羅し、1台のアプライアンスで完結

事前に Cisco IronPort 製品のトライ アンド バイ プログラムを利用して評価を行い、そのまま円滑に導入することができた。問題がある Web サイトのカテゴリ情報、疑わしい Web サイトのレピュテーションスコアスコからリアルタイムに提供されており、かなり充実していると袋井氏は話す。

「社内の部署によってアクセスを認めるかどうかの判断が異なるので、設定を簡単に適用できる WSA は便利です。URL カテゴリは全体としてメジャーなところはほぼ入っていますし、特にマルウェア感染のリスクが大きい海外サイトも充実しているので、確率的には非常に高い防御を実現できていると思います。これは WSA を導入した理由のひとつですね。」

## 導入効果

### 警告による社員の意識向上、ログ取得など相応の効果を発揮 社員に負担をかけず効果的な運用を実現

導入効果として、目に見えて何かが変わったということはないと袋井氏は話す。もっとも、これは順当な結果であると認識している。

「セキュリティ対策なので、特別なことが何も起こらないというのは、それ自体が効果であり、よい状態なのだと思います。問題のありそうなサイトは Web レピュテーション フィルタでブロックされているので、きちんと効果が上がっていると理解しています。」

サイトによっては、アクセスを完全にブロックせず、警告メッセージを表示して社員の意識向上を促す方策も採っている。社員教育的な面でも効果を発揮できればと袋井氏は考えている。

「問題がありそうなところをいこうとすると警告が出ますから、それを理解したうえで先へ進むのか、やめるのか、各々が判断できるようにしています。あまり制限をきつくと仕事に支障がでてしまうので、弊社のポリシーは比較的緩いほうかもしれませんが、それでも掲示板への書き込みは禁じるなど一定の制限を施した上で、WSA で全部ログを取っているの、誰が何をしたか記録は残るわけです。それ自体も効果といえるでしょう。」

WSA は WCCP (Web Cache Control Protocol) というルータと連携する機能を備えているおかげで端末側の設定は一切不要でした。導入も楽で、社員によけいな負担をかけずに運用できることも大きなポイントだったと思います。」

## 今後の展開

### リストの充実によって、 さらに精度が向上することを期待

今後は、日本語以外の 2 バイト言語に対応した URL カテゴリの充実を期待しているとのこと。URL カテゴリ データベースの範囲をアジア地域の言語にも広げ、より精度を高めてほしいと袋井氏は話す。

「意図しないところにもリスクがあることを認識し、きちんと対応していくと共に、ユーザのモラルを高めていくことが重要です。これからも WSA を活用していきたいと思っています。」

©2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2011 年 4 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



## お問い合わせ

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯電話・PHS 含む)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>